

プロカリオティックチミジル酸キナーゼ、再組換え

Cat. No. NATE-0918

Lot. No. (See product label)

はじめに

『明 酵素学において、dTMPキナーゼ(**EC 2.7.4.9**)は、次の化学反□を触媒する酵素です: **ATP**

+ dTMP \rightleftharpoons ADP + dTDP。したがって、この酵素の二つの基質はATPとdTMPであり、その二つの生成物はADPとdTDPです。この酵素は転移酵素のファミリーに属し、特にリンを含む基を転送する酵素(リン酸転移酵素)で、受容体としてリン酸基を持ちます。この酵素はピリミ

ジン代謝に関与しています。

別名 dTMPキナーゼ; EC 2.7.4.9; ATP:dTMPホスホトランスフェラーゼ; チミジン一リン酸キナー

ゼ; チミジル酸キナーゼ; チミジル酸ーリン酸キナーゼ; チミジル酸キナーゼ; チミジル酸キナーゼ; デオキシチミジン5'ーリン酸キナーゼ; TMPK; チミジン5'ーリン酸キナーゼ

製品情報

由来 微生物

形態液体

EC番号 EC 2.7.4.9

CAS登□番号 9014-43-1

分子量 ~ 25.4kD

活性 ~ 4 U/mg タンパク質

単位定義 1ユニットは、pH 7.6および25°CのTEAバッファ中でNADHの存在下において、TMPとATPか

ら 1μ moleのTDPを形成するために必要な酵素の量として定義されます。

保管・発送情報

保存方法 -20℃